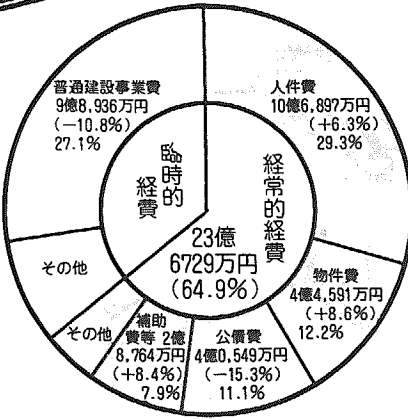


60年度 決算 36億5千万円

性別歳出の内訳 (36億5,138万円) (%は前年比)



昭和60年度の決算がまとまり、12月議会で認定されました。決算は町の家計簿といわれるもので、60年4月1日から61年3月31日までについていくらかお金が入ってきて何にどう使ったのかをまとめたものです。決算額は歳入が37億3066万円、歳出が36億5138万円を61年度に繰越しました。

町の予算となりました。この予算をどう使ったのかを表わしたのが決算です。歳入は37億3066万9千円で59年度より1億1418万7千円(3.0%)の減額。歳出は36億5137万8千円で1億793万5千円(2.9%)の減額となりました。

自主財源56% 国庫の補助増加

町民一人当たりでは、町税を7万503円頂き、16万484円使ったことになりました。この差額は国庫の補助金、町債で賄っています。

健全財政の維持を

決算の認定に先立って行われた「監査意見」では黒埼町の財政状況を次のようにまとめています。

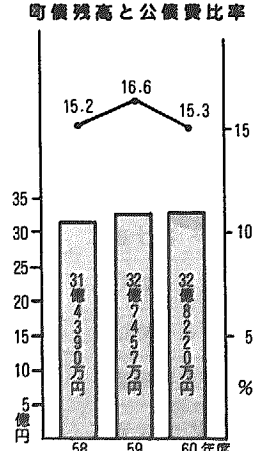
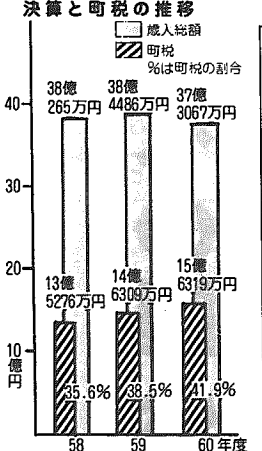
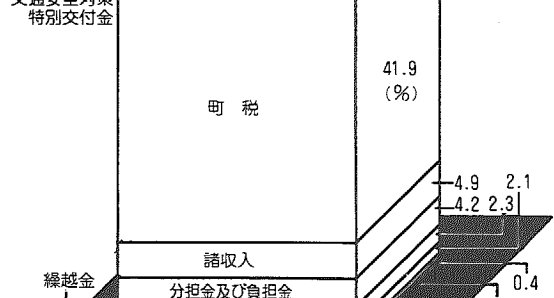
見直し事務の合理化を図っています。そして、公債費比率は59年度より1.3%減の15.3%、財政の弾力性を示す経常収支比率は77.5%(1.6%低下)となっています。

自主財源 20億9891万円(56.2%)

◆町税 15億6319万円 (前年度より+1億10万円+6.8%)町の最大の収入源。町民税…6億9163万円、固定資産税…6億7305万円、たばこ消費税…1億94万円。人口増、宅地化に伴い増加傾向。収納率は98.3%。

依存財源 16億3176万円(43.8%)

◆町債 1億8790万円(-2億410万円-52.1%)町の借金。木場保育所に3830万円、都市下水路に6320万円、大野小体育館改修に3560万円。



歳出の内訳

- ◆総務費11億1458万円(前年度より+4594万円+4.3%)
 - ・給料5億1940万円・職員手当等2億7435万円・共済費1億8028万円・町史編さん費310万円・第3次総合計画策定委託料2325万円・交通安全対策費584万円・徴税費1994万円・戸籍住民基本台帳費681万円・選挙費143万円・統計調査費476万円
- ◆土木費4億3704万円(前年度費-1億3623万円-23.8%)
 - ・町道の整備1億6480万円(舗装延長95キロ、舗装率46.3%)
 - ・県道の整備(町の負担金)175万円・雪害対策費2251万円・都市下水路費1億8250万円・排水路改修1229万円(616メートル)・公園整備827万円
- ◆民生費4億933万円(+1億9090万円+87.4%)
 - 木場保育所建設(1億7616万円)で大幅増加・社会福祉費6366万円(老人福祉、黒埼荘、国民年金事務費など)・障害福祉費320万円。
- ◆公債費4億504万円(-7342万円-15.3%)
 - 町の借金の返済。繰上償還金7182万円減少。

36億5138万円



- ◆教育費3億4974万円(-2億186万円-36.6%)前年度は北部地区公民館建設費があったため大幅減。・小学校費2億9万円(大野小体育館改修費8972万円)・中学校費4306万円・生涯教育学習推進事業150万円・公民館費1109万円・文化財保護費252万円・青少年問題対策費144万円・図書館費856万円・寺地スポーツ公園建設費940万円・野球場駐車場舗装工事485万円・学校給食費2412万円
- ◆農林水産費2億7277万円(+1198万円+4.6%)
 - ・新農業構造改善事業4133万円(ライスセンター2771万円)
 - ・農業振興費1911万円・水田利用再編対策費1188万円・農地費6712万円(土地改良負担金など)・農村総合整備事業費1億1831万円(環境改善センター建設費など)
- ◆衛生費2億7604万円(+4447万円+19.2%)
 - ・新潟地区広域清掃事務組合負担金1億661万円・ゴミ収集委託料4939万円・コンパクト購入費3950万円。
- ◆商工費1億3605万円(+1051万円+8.4%)
 - 産業育成資金、商工業近代化資金、商工会の補助など。
- ◆諸支出金1億3060万円(-524万円-3.9%)
 - 財政調整基金積立金7300万円・減債基金積立金3600万円
- ◆議会費7250万円(-209万円-2.8%)
 - 報酬4580万円
- ◆消防費4254万円(+662万円+18.4%)
 - ポンプ自動車886万円・消火栓392万円
- ◆労働費517万円(50万円+10.6%)
 - 失業対策労務者補助金など。

自主財源

- ◆町税 15億6319万円 (前年度より+1億10万円+6.8%)町の最大の収入源。町民税…6億9163万円、固定資産税…6億7305万円、たばこ消費税…1億94万円。人口増、宅地化に伴い増加傾向。収納率は98.3%。
- ◆諸収入 1億8304万円 (+5457万円 +42.5%)
 - 木場保育所の移転補償費(4184万円)で増収。ほかには産業育成資金貸付金元利収入6743万円など。
- ◆分担金及び負担金 1億5768万円 (+256万円 +1.7%)
 - ほとんど保育料
- ◆繰越金 8554万円 (-3059万円 -26.3%)
 - 前年度繰越金
- ◆繰入金 7979万円 (-1億2221万円 -60.5%)
 - 基金を崩して一般会計に入れるもの、財政調整基金繰入金847万円、減債基金繰入金4000万円
- ◆財産収入 1585万円 (-1170万円 -42.5%)
 - 基金の利子減少
- ◆使用料及び手数料 1356万円 (+4万円 +0.3%)
 - 戸籍住民手数料、黒埼荘など。

依存財源

- ◆町債 1億8790万円 (-2億410万円 -52.1%)
 - 町の借金。木場保育所に3830万円、都市下水路に6320万円、大野小体育館改修に3560万円。
- ◆地方交付税 8億2395万円 (+4286万円 +5.5%)
 - 国が国税を一定の割合で地方に配分するもの。
- ◆国庫支出金 3億3754万円 (+4376万円 +14.9%)
 - 使いみちが決まっている国からの補助金。木場保育所に3865万円、大野小体育館に2610万円、児童措置に6676万円、農村総合モデルに4872万円、都市下水路に7300万円、児童手当負担金2118万円。
- ◆県支出金 1億8546万円 (+1192万円 +6.9%)
 - 木場保育所に1932万円、個人県民税徴収委託金1824万円、農村総合モデル2274万円。
- ◆地方譲与税 3322万円 (-238万円 -6.7%)
- ◆自動車取得税交付金3641万円 (+34万円 +0.9%)
- ◆交通安全対策特別交付金352万円(73万円+26.3%)

暮らしとくらしの質を向上させる

昭和60年度の決算がまとまり、12月議会で認定されました。決算は町の家計簿といわれるもので、60年4月1日から61年3月31日までについていくらかお金が入ってきて何にどう使ったのかをまとめたものです。決算額は歳入が37億3066万円、歳出が36億5138万円を61年度に繰越しました。

決算額3%の減

皆さんの暮らしや各種事業に町はたくさんのお金を必要とします。町はあらかじめ町にいくらかお金が入ってきて、それをどう使うか年度初めに予算(当初予算)を立てます。必要に応じて修正予算を組みます。60年度は33億9270万円スタートし、修正を経て最終的に37億203万8千

自主財源56%

町民一人当たりでは、町税を7万503円頂き、16万484円使ったことになりました。この差額は国庫の補助金、町債で賄っています。

健全財政の維持

見直し事務の合理化を図っています。そして、公債費比率は59年度より1.3%減の15.3%、財政の弾力性を示す経常収支比率は77.5%(1.6%低下)となっています。

自主財源

◆町税 15億6319万円 (前年度より+1億10万円+6.8%)町の最大の収入源。町民税…6億9163万円、固定資産税…6億7305万円、たばこ消費税…1億94万円。人口増、宅地化に伴い増加傾向。収納率は98.3%。

依存財源

◆町債 1億8790万円 (-2億410万円 -52.1%)町の借金。木場保育所に3830万円、都市下水路に6320万円、大野小体育館改修に3560万円。

歳出

36億5,138万円